

第5回東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり

協議会資料

令和2年7月

目次

令和元年度 活動報告	1
部会等の内容について	1
東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 21 回部会）議事概要	2
東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 22 回部会）議事概要	6
東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 23 回部会）議事概要	13
東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 24 回部会）議事概要	16
東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 25 回部会）議事概要	21
東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 26 回部会）議事概要	28
今後の取組みスケジュール	30

令和元年度 活動報告

第 21 回構想部会から第 26 回構想部会において、現地視察や各地域の取り組み等を報告し合うことにより情報の共有や意見交換等を行ってきました。

	日程	会議	検討内容など
令和元年	5 月 9 日	第 21 回まちづくり構想部会	ワークショップ開催報告等について
	7 月 11 日	第 22 回まちづくり構想部会	ワークショップ開催報告等について
	9 月 8 日	第 23 回まちづくり構想部会	摂津まるごとマーケット視察
	9 月 12 日	第 24 回まちづくり構想部会	・摂津まるごとマーケット理事長講演会 ・ワークショップ開催報告等について
	9 月 26 日	下新庄地域（部会員）打合せ	・第 4 回ワークショップについて ・第 5 回ワークショップ事前打合せ
	10 月 18 日	下新庄地域（部会員）打合せ	第 5 回ワークショップ事前打合せ
	10 月 29 日	下新庄地域ワークショップ	第 5 回ワークショップ
	11 月 14 日	第 25 回まちづくり構想部会	ワークショップ開催報告等について
	12 月 17 日	第 26 回まちづくり構想部会	・シモナリエ見学 ・ワークショップ開催報告等について

部会等の内容について

今年度の活動の記録として各部会の議事概要を次頁から掲載しています。

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 21 回部会）議事概要

- 日時：令和元年5月9日（木）午後7時～9時
- 場所：東淀川区役所出張所 1階 会議室

1. 開会

2. 情報提供

- ・ 阪急淡路駅東口駅前広場の駐輪場をご利用の皆様へ

3. 議題

- ・ おおさか東線（JR 淡路駅）の開通に伴う変化について
- ・ まちづくり構想部会の進め方について
- ・ ワークショップ等開催報告及び意見交換

○ 意見交換要旨

2. 情報提供について

- ・ 阪急淡路駅東口駅前広場の駐輪場をご利用の皆様へ
 - 淡路駅東口駅前広場に設置されている暫定駐輪場の有料化に伴う設備等の設置工事に伴う駐輪場の閉鎖についてのお知らせ。
 - 東側の無料駐輪場について有料化に向け5月26日（日）午後11時に閉鎖し駐輪設備等の設置工事を実施していく。
 - 東側の有料駐輪場オープンについては、6月7日（金）を予定。
 - 工事施工期間中は、周辺駐輪場の混雑が予想され、ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力をお願いします。

3. 議題について

- ・ おおさか東線（JR 淡路駅）の開通に伴う変化について
 - 特に奈良から来る電車は満員です。
 - J R 淡路駅と阪急淡路駅の間の東淡路商店街は人の波です。
 - 朝、阪急淡路駅から JR 淡路駅に向かって歩くのですがすごい人。そこに自転車すごい速度で走ってくる。非常に危ない。
 - 家は宿屋なので、結構 JR を使って来られる、つまりは、新大阪駅で降りておおさか東線で来られる。
 - 思っていたよりも多くの方が利用されている。
 - 誰が使うのかな、大丈夫かなと不安があったが、思ったより皆さん使っている。
- ・ まちづくり構想部会の進め方について
 - 各地域でまちづくり構想を作って頂く際に、他でどんなことが行われているのか、もっと広い視野でどんなまちづくりが進められているのか、非常に大事になって行くので、情報交換・情報提供をしっかりとこの部会、2 か月に 1 回開催に際し、提案して行きたいと思っている。
 - 先進地域に視察に行ったり、久先生が関わっている、様々なまちづくり地域だとかにご意見を聞きに行ったり。
 - さらに、東淡路地域や菅原地域のまちづくりをこの部会で見に行くなど、そのような現地視察など様々な情報提供を 2 か月に 1 回の部会で、より具体的にやって行きたい。
 - ヨーロッパの方で伝統がある国のまち等を参考にしながら、この淡路駅・新大阪駅周辺も取り組んではどうかと提案した。

- 本当に名古屋に視察に行くとか、京都に行くとか。いやいや、それはお金がかかりすぎるので、もう少し近場を含めて、視察とか、現場研修などを取り組みたいと思っています。
- 座学ばかりでなく、夜になるかもわかりませんが、日曜日に出来るなら日曜日にするなど、現場を案内してもらい現場で色々学べたらと思っています、事務局とも相談しますが、その様なことを、積極的に現場に行かせてもらい、現場から学ばせて頂くと言うことを行っていく
- 駅前であちづくりを考えるきっかけとなるイベントが出来ないかと関心を持っている。

・ ワークショップ等開催報告及び意見交換について

- 下新庄地域で3月7日に第4回目のワークショップを開催。
- 子どもの居場所作り等、色々な行事を行う上で一番大事な、ボランティアをどのように育成発掘していくか。
- 地域活動に参加しない理由、どうすれば地域の人々が活動に参加してもらえるかをテーマにワークショップを開催。
- ワークショップは、ワールドカフェ形式により実施した。
- テーマは次のとおり
 テーマ1 子どもに関する活動の現状について。
 テーマ2 なぜ、地域の人々は活動に参加しないのか。
 テーマ3 どうしたら、地域の人々が活動に参加するのか。

ワークショップ結果を発表し意見交換

- アンケート結果を開示する必要がある、質問の仕方は考える必要がある。
- メリットとして、分かりやすく飲みに入れて行ってもらえとか、何かおいしいも物が食べれるなどが結果的にいい感じになるのかな。

◎久教授のアドバイス要旨

- 色々なところで実験してきていて、なぜ、地域の人々が活動に参加しないのか、アンケートを取らなくてもこれは、かなり正解です。
- これをどの様に変えて行ったら良いか、よく聞く話なのですが、入りづらいと言うのは、入っている人には分からない。
- なあなあの関係、それから、話す内容がつかあで分かるような話になっている。
- このため、初めて入った人は、居心地が悪くなる。
- これをどの様になくすか、実はこれが重要なポイント。
- 旧の人は先祖代々知り合い、集まれば何処の誰か分かる。
- それが、新しい人には分からない。あそこの息子の話やでなどと言った話についていけない。ほんの些細なことで疎外感を感じる、そんな話はよく聞く。

- 月一回行っている井戸端会議ですが、そこは、毎回、全員で自己紹介を行う。
そうすると、初めて来た人も、全員の顔が見えてくる、ちょっとした工夫。
- よくあるパターンですが、初めて来た人にだけ自己紹介をしてもらう、そうすると、いつも参加する人はその人を見れば、だいたいわかる。
逆に、初めて来た人は自分が自己紹介するだけで、あと、誰が居てるか分からないまま、2時間過ごさないといけない。
- ちょっとした工夫ですけども、毎回みんなが自己紹介、又は、近況報告をやって行くとどんな方で、どんな活動を行っているか、初めて来た人でも何か分かってくる。
- その時に役に立つのが一度入ると抜けられないと言う恐怖心がなくなる。そこに入っても自分が手を挙げなければ、誘われない、安心感があるので、ちょっと覗いてみようかと言う話で、例えば話を聞いてこの人たち面白いことやっているなど言ったら自分の気持ちで活動に飛び込むことが出来る。そんな工夫をしているところもある。
- 大体、みんな、役員会とか、なにかあるところに飛び込まなければならない。
飛び込んだ瞬間に足をつかまれ逃げられない、だから、最初から寄り付かない方が良くになってしまう。
安心して、まずは顔を出せるような集まりを作っておく必要がある。
- ある地域の自治会長さんに、気持ちを入れ替えて頂いたのですが、好きな事しかない人を認めてあげて、入ってもらえば良いでしょうと話をした。
- 会長にはいつも、よく考えて下さい、怒ってその人を逃がしたらゼロになる。
- その人が 0.1 でも手伝ってくれたらプラスになる、どちらが得か考えて下さい。
- 0.1 プラスになる方が得じゃないですかと話したが、理屈はわかる、でも腹が立つ、そこはぐっと堪えてくださいと話した。
- 地域で今まで頑張ってくれている人たちの気持ちが変わると、新しい方も入れる様になる。
- その自分の気持ちを変えるのが難しいと、お付き合いしていていつも思う。
- 今までこれでやってきた、やっぱり頑張ることが地域活動だと思えば思うほど新しい人が入れなくなる。
- 変わっていくのは、本当は自分たちなのですけどもね。
- 極端に言ってメリットがないと言っているが、メリットが無ければなくしてしまえと極端な事を言ってもなくならない。

- この組織なくしましょうかと言って、なくそうとすると誰かが、必要ではないかと言って、そこから新しいものが始まる。
- 前の会長さんが、誰に頼んでも引き受けてもらえないから、わかった、次の総会は解散総会にすると言ったら、すいません、私で良ければと言ってくれた。
- ある駅前の違法駐輪 1100 台がほとんどなくなった話ですが、これは、徹底的な撤去活動をしました。
- 周辺には、3つの大会社がありその社員が協力的です。
- なぜかと話を聞くと、会社訪問に来た学生が駅を降りてそのまま帰ってしまったことがある。
- こんな汚い所で働きたくない、そんな出来事があった。
- 駅前をきれいにしないと、会社が頑張っている人も人が来てくれないことに気づいたと言っていた。
- 大学も同じで、まちがきれいでないと、受験生が来た時に、ここのまちでは、4年間大学に通いたくないと思われる。
- そう言った意味でも大学もまちづくりと一緒に駅前をきれいにしてもらうとか、そんなことをやっを行かなければならない時代に入ってきたので、そういう意味では大学の話聞くのは面白い。

○ その他・連絡事項

次回の部会は7月11日（木曜日）午後7時より開催